

全国協議会 ニュース

2024年10月1日発行 第386号

発行所：特定非営利活動法人
全国骨髄バンク推進連絡協議会
〒101-0031 東京都千代田区東神田 1-3-4KT ビル 3階
TEL：03-5823-6360 FAX：03-5823-6365
発行責任者：梅田正造 題字：仲田順和
https://www.marrow.or.jp E-Mail:office@marrow.or.jp

都道府県別「ドナー休暇制度」及び「ドナー助成制度」導入実績

日本骨髄バンクを介して骨髄移植を希望する患者さんのうち、実際に移植を受けることができる方は約6割とされています。この大きな理由としてドナーの「仕事の都合がつかない」が35% (2023年度) もあります。これを改善するため、ドナーが休みやすい環境を整備するために設けられたのが「ドナー休暇制度」と「ドナー助成制度」です。

「ドナー休暇制度」は、ドナーが提供に必要な通院や入院のための休暇(10日以上になることもあります)を、ドナー自身の有給休暇を使うのではなく、勤務先に特別休暇として認めていただくものです。

また、「ドナー助成制度」は、地方自治体がドナーを支援して提供しやすくする支援制度です。内容は、各自治体により異なります。

全国協議会では、2024年度事業計画で『「ドナー休暇制度」』『ドナー助成

制度』の更なる普及」を活動項目に掲げ、「各地の進捗を確認し、経済団体、自治体への働きかけを支援します」としています。

図1に「都道府県別ドナー休暇制度導入企業数(2024年8月現在)」を示しました。日本の企業数は、367万4,058事業所(R3年経済センサス・活動調査・速報集計結果より)ありますが、導入数はたったの855社です。日本骨髄バンクでは、導入促進の広報をするとともに届け出のあった企業をカウントしているとのことですので、導入していない企業が多数あるものと思われます。企

業への確認、導入促進が必要です。

また図2に「都道府県別ドナー助成制度導入自治体数(2024年8月31日現在)」を示しましたが、全1,741自治体中導入は1,048と導入率は60%です。各自治体への導入促進が必要です。

各地ボランティア団体の皆さまも地元企業に接する機会があったらドナー休暇制度を導入しているかの確認と促進をお願いします。またドナー助成制度未導入の自治体への導入依頼をお願いします。

(全国協議会 理事長 梅田正造)

図1 都道府県別ドナー休暇制度導入企業数
(データ：2024年8月現在 導入855社、日本の企業数367万4,058事業所)

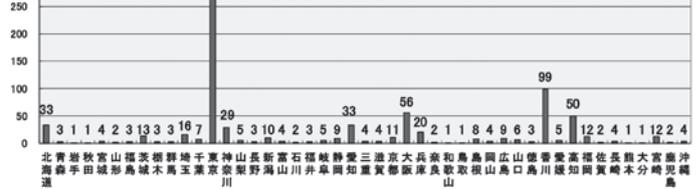
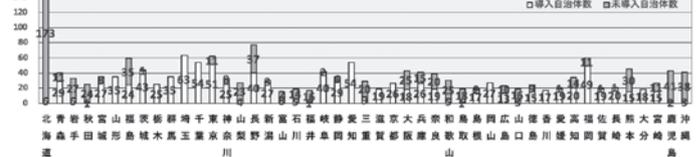


図2 都道府県別ドナー助成制度導入自治体数
(データ：2024年8月31日現在、全1,741自治体中導入1,048)



(導入数は日本骨髄バンク発表)

マンスリーサポーター募集開始

この度、全国協議会の活動支援をお願いする「継続寄付(マンスリーサポート)」の募集をREADYFORで開始しました。前号でも紹介しましたが、月々1,000円からのご寄付をお願いします。READYFORのページから一度お申込みいただくと、以降は毎月クレジットカードで自動決済されるシステムで、もちろんいつでも途中退会ができます。

皆さまからお寄せいただきましたご寄付は「佐藤さち子基金」をはじめとした患者支援基金や、白血病フリーダイアルの運営費などをはじめとした様々な

患者支援活動、骨髄バンク事業の普及啓発活動に使わせていただきます。また、一部につきましては全国協議会の運営費用にも充当させていただきます。

全国協議会の患者支援活動が将来にわたり持続できるようにとの目的で運営されます。血液難病患者さん支援のため、ぜひ、この情報を広く拡散していただきたくお願い申し上げます。

不明点等ございましたら全国協議会の事務局(電話03-5823-6360)までお気軽にお問い合わせください。

READYFOR 継続寄付ページ
詳細・申込はこちら



骨髄バンクの最新情報をお知らせする

骨髄バンク NOW

(MONTHLY JMDP(9月13日発行)より抜粋)

■日本骨髄バンクの現状(2024年8月末現在)

	7月	8月	現在数	累計数
ドナー登録者数	2,950	2,599	558,241	974,241
患者登録者数	225	180	1,679	69,574
採取数	骨髄	53	54	26,638
	末梢血幹細胞	33	38	2,271
	合計	86	92	28,909

2023年4月から統計基準が移植件数から採取件数に変更

■8月の区分別ドナー登録者数

献血ルーム/818人、献血併行型集団登録会/1,730人、集団登録会/13人、その他/38人

■8月の年齢別ドナー登録者数(現在数)

10代 4,774人/20代 94,813人/30代 136,617人
40代 212,389人/50代 109,648人

■8月の20歳未満の登録者182人

(注)数値は速報値のため訂正する場合があります。

厚生労働省 令和7年度の概算要求

厚生労働省は、9月初旬に令和7年度の移植医療対策推進の概算要求を公表しました。スワブ検査導入に係る費用や、臍帯血提供の際の問診票のオンライン化に係る費用が計上され、令和6年度当初予算を3億円上回る28億円が要求されました。(括弧内は令和6年度当初予算額)

令和7年度概算要求 造血幹細胞移植対策の推進 28億円 (25億円)

①骨髄移植対策事業費

(骨髄バンク運営費) 6.1億円 (4.9億円)

新たな骨髄バンクドナーの登録方法である自己スワブ検査導入に伴う環境を整備するとともに、骨髄・末梢血幹細胞提供あっせん事業者(骨髄バンク)の安定的な運営を引き続き支援する。

②骨髄データバンク登録費

(日本赤十字社) 6.5億円 (6.5億円)

骨髄移植及び末梢血幹細胞移植をする際に必要な骨髄等ドナーのHLA(白血球の型)の検査及びデータ登録・管

理体制の確保を図る。

③臍帯血移植対策事業費

(さい帯血バンク運営費)

7.1億円 (6.5億円)

臍帯血提供者の問診票のオンライン化など業務効率化を進めるとともに、普及啓発により臍帯血提供数の増加を図り、臍帯血供給事業者(さい帯血バンク)の安定的な運営を引き続き支援する。

④造血幹細胞移植患者・ドナー情報登録支援事業(学会データセンター運営費)

1.2億円 (77百万円)

患者の治療内容やドナーの健康情報等を収集・分析し、医療機関・研究者等に提供することで、治療成績や安全性の向上につなげていくため、移植登録一元管理プログラム(TRUMPシステム)によるデータ処理・解析を行うとともに、システム更改に向けた準備を進める。

⑤造血幹細胞提供支援機関事業

(日本赤十字社) 3.1億円 (2.0億円)

スワブ検査導入に伴うシステム環境を整備するとともに、骨髄・末梢血幹細胞提供あっせん事業者及び臍帯血供給事業者に対する支援を行う支援機関の安定的な運営を引き続き支援する。

⑥造血幹細胞移植医療体制整備事業

(拠点病院運営費)

3.9億円 (3.9億円)

移植後も身近な地域で生活の質を保ち、安心して暮らしを続けていけるよう、引き続き、各地域における造血幹細胞移植推進拠点病院の体制整備を図る。

東京雪祭 SNOWBANK PAY IT FORWARD2024 が開催されます

一般社団法人 SNOWBANK は、「若者に献血・骨髄バンクを知って、行動してもらおうキッカケの場を作ること」として、今年もスノーボードを軸に「音楽・アート・食」をテーマにした子どもから大人まで楽しめる「東京雪祭」を東京・代々木公園イベント広場にて開催します。

一人でも多くの患者さんが治療のスタートラインに立てる社会づくり！東京雪祭に参加しませんか。

会期中に献血者444人、骨髄ドナー登録者111人を目標にしています。献血は日本赤十字社のアプリ「ラブラッド」から予約できます。

雪主(患者支援活動費用のご支援者

様)を通年募集中です。オリジナルグッズのリターンも用意されています。

■開催日: 2024年11月9日(土)~

10日(日)

■会場: 代々木公園 B 地区イベント広場

■開場: 9:00

■閉場: 17:00

■料金: 無料



雪主募集サイトへGO!

チャリティーコンサート開催決定

骨髄バンク支援のチャリティーコンサートが首都圏各地で開催されます。このコンサートは三戸さんと小澤さんの留学時代のご学友が、白血病でド

ナーを待ちながら闘病していたのをきっかけに始めたものです。ご学友は残念ながら、ドナーが現れることなく亡くなれましたが、お二人はドナー

登録者が一人でも増えることを願って各地で30年にわたり演奏していただき、また、高田さんも趣旨に賛同して10年近くご出演いただいています。関東の3カ所の開催情報をお届けします。

演奏者(3会場共通)

三戸素子(ヴァイオリン)

小澤洋介(チェロ) 高田匡隆(ピアノ)

演奏曲目(3会場共通)

*クライスラー: コレルリの主題による変奏曲

*チャイコフスキー: メロディー変ホ長調 作品42-3

*ドヴォルザーク: ロンド ト短調 作品94

*ショパン: マズルカ 作品17より

*ドヴォルザーク: ピアノ三重奏曲「ドゥムキー」

11月16日(土) 千葉	11月17日(日) 東京	11月23日(土・祝) 埼玉
開場 13:30 開演 14:00	開場 14:30 開演 15:00	開場 13:30 開演 14:00
コンサートと落語会 骨髄ドナーと移植患者の対談	ピアノ三重奏チャリティー コンサート 2024 響~Hibiki~	ピアノ三重奏の調べ 骨髄バンクミニシンポジウム
成田市文化芸術センター なごみの米屋スカイタウンホール JR 成田駅前	求道会館 (東京都文京区) 南北線東大駅前徒歩5分	日本パプテスト 浦和キリスト教会 JR 北浦和駅西口徒歩10分
千葉骨髄バンク推進連絡会	骨髄バンクを支援する東京の会	埼玉骨髄バンク推進連絡会

3会場のチラシがご覧いただけます。

料金など詳しいことはこちらでご確認ください。



リレー・フォー・ライフの活動紹介

リレー・フォー・ライフは、世界中で行われているがん征圧のためのチャリティウォークイベントです。リレー・フォー・ライフの年間活動の締めくくりとしてリレーイベントを開催します。会場ではチームの仲間とタスキをつなぎ、チームフラッグを掲げ歩きます。夜を越えて歩き、チームの仲間や参加者同士で朝をむかえる、夜通しのイベントを推奨しています。リレー・フォー・ライフが使命とする“Save Lives”は、直訳すると「命を救う」ですが、単に医療行為によって救命を行うという意味ではありません。医療に従事してなくても、リレー・フォー・ライフに参加し寄付金を募ることで医療の進歩に貢献し、間

接的に人の命を救うことができます。そして、生きる希望を失った人の支えになることもまた、命を救うことです。リレー・フォー・ライフにおける“Save Lives”のもうひとつの意味、それは「人の魂を救う」ことなのです。2024年は9月に15か所で開催、10月は17か所で開催予定です。サバイバーの方もケアギバーの方も一般市民の方もお気軽にご参加ください。お近くの開催場所はリレー・フォー・ライフのホームページから検索してください。

8月24日(土) 14:00~21:00 室蘭の道の駅カナスチールみたら室蘭で行われたイベントを紹介します。当日は昨年に続き30℃を超える晴天に恵



リレー・フォー・ライフ・ジャパン公式サイトより

まれスタートしたリレー・フォー・ライフ・ジャパン室蘭2024。熱中症対策として今年度、1日の開催になりました。会場内ではリレーイベントならではの再会を喜びハグする姿も見られました。そして、また次回も、この会場で再会することを約束し、事故なく無事に閉会することができました。また来年お会いしましょう。

骨髄バンク啓発グッズ紹介

全国協議会では、骨髄バンクを多くの方に知っていただくためのツールとして様々な啓発用のグッズを用意しています。ポケットティッシュは赤色で全国協議会ホームページの骨髄移植の説明ページに遷移する二次元コード付きです。クリアファイルは青とピンクの二色をご用意。どちらも大人気のハローキティです。ハローキティグッズ

は他にもミニうちわ、ノボリ、横断幕があります。タオルで有名な今治のミニハンカチはターコイズブルーです。お問合せはお気軽に全国協議会事務局までお願いします。

※当協議会の啓発グッズは骨髄バンク事業の啓発や患者支援活動を目的とした用途に限定して作成されています。啓発や患者支援以外の目的では使用で

きませんのでご了承ください。



©2024 SANRIO CO., LTD. APPROVAL NO. 1651481

佐藤きち子基金の申請急増

全国協議会では経済的困難を抱える造血細胞移植を受ける患者さんへ移植に関わる費用を助成する「佐藤きち子記念造血細胞移植患者支援基金」を運営しています。

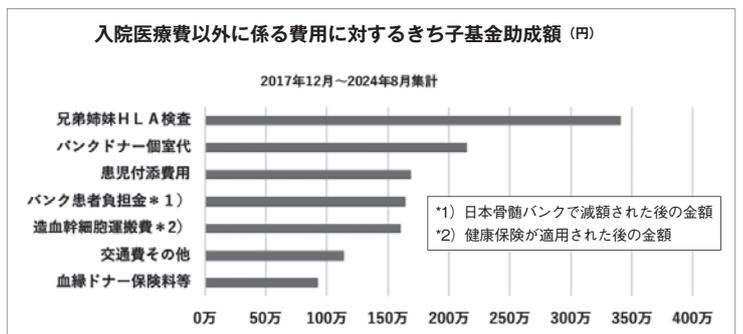
2024年度は4~6月の3カ月間だけで助成件数は20件、助成金額は165万円を超過しました。このままのペースだと年間の助成件数は48件、助成金額は660万円に達することとなり、過去最高であった昨年度の1.5倍になる可能性もあります。収入要件を緩和して対象者を拡大したこともあります。申請者、申請額とも増加していますが、以前であれば対象であっても「何とか踏んばる」とされていた層の方が、昨

今の物価高などで「大変厳しい」と申請するようになったケースもあるのではないかと推測しています。

医療費は医療保険の高額療養費制度で一定額までの負担となりますが、移植には、血縁ドナーを探すための白血球の型(HLA)の検査代、日本骨髄バンクを介した移植の場合は患者負担金・造血幹細胞の運搬費・ドナー差額ベッド代など特有の費用がかかるため、患者さんの負担はとて大きなものにな

ります。

患者支援基金の運営はとて大きな費用がかかります。本来、民間のボランティア団体が運営するのは難しいのかもしれませんが、患者さんの闘病を支えるためにはなくてはならない制度です。今まで皆さまに支えていただきました。これからも基金が継続できるようご支援をよろしくお願いいたします。



各地のたより
各地のたよりを
写真を添えて
お寄せください。

埼玉
第4回 リレー・フォー・ライフ・
ジャパン 2024 ところざわ

私たちRFLJ（リレー・フォー・ライフ・ジャパン）ところざわ実行委員会は、5月25日（土）に4回目となる、リレー・フォー・ライフ・ジャパン2024ところざわを開催しました。会場は、埼玉県所沢市にあります、所沢航空記念公園で行いました。

今回はがん患者や関係する方々が楽しめる催し物に加え、埼玉西部消防組合消防音楽隊様による演奏やサバイバーストーク（がん体験者同士の対談）、キッチンカーのご協力、有志による夜越えウォークを実施しました。

大阪
絵本「春ちゃんは元気です」
パネル展、大阪守口市役所
ロビーで初開催！



今年の4月、守口市で「骨髄バンクドナー助成金制度」が導入されました。助成金導入を広く市民の皆さんに知っていただく機会として、市役所1階ロビーで絵本『春ちゃんは元気です』展（8月9日（金）～8月29日（木））を「守口市献血推進協議会」主催で初めて実施していただき、展示と撤去のお手伝いをしてきました。

市役所1階ロビーは多くの市民・職員が通る絶好の場所です。今回の展示を観た感想を多くいただき、価値ある取り組みになりました。さっそく次の展示日程が地域の献血予定に合わせて11月11日（月）～12月3日（火）で決まりました。

守口市では約22年前に大阪府で初めて献血併行型骨髄バンク登録会を実施されました。その後、大阪府赤十字



開会式では、我々の活動を応援してくれる地元の議員さんなど、数多くの方が集まってくださいました。

その後、がん患者を応援すべく地元のミュージシャンや千葉から駆けつけていただいたバンドの生演奏、病院の先生による喫煙に関する講演や、言葉の影響に関する講演、がん告知を受けた人とご家族のケアやサポートの講演に、紙芝居の催し物を行いました。

今回初めて参加された方から、「同じような経験をしている人がこんなに近くにいて、ひとりじゃないんだと

感じる事ができ、来年もぜひ参加したいと思った」とのお言葉をいただきました。また、運営をお手伝いいただいた方からは、「イベントに参加しているがん患者から感じるエネルギー・前向きなパワーに感銘を受け、がん罹患しても明るい未来を取り戻せると実感した」とのことでした。

RFLJところざわのテーマは、がんをひとりで悩んでいる方に、同じ経験をしてきた仲間との出逢いにより、希望を感じてもらい、笑顔になっていただきたいのと願いが込められています。

ひとりでも多くの方にこの活動を届けられる様、実行委員・関係者全員で頑張っまいます。来年も同じ時期に開催予定です。ぜひみなさまのご参加をお待ちしております。

（リレー・フォー・ライフ・ジャパン
ところざわ 実行委員長 角田潤弥）

血液センターのご協力のもと、守口ライオンズクラブ主催の献血活動では献血併行型骨髄バンク登録会を開催していただききました。今まで多くの市民の方にドナー登録をしていただき、また、実際に提供をしていただいた話を聞きました。今回のドナー助成金導入をきっかけにさらに多くのご協力を得られればと願っています。

大阪府には自治体が43ありますが、今回の守口市はようやく18自治体目です（2024年8月末現在）。私たちは多くの方のご協力で、今年は羽曳野市、柏原市、寝屋川市へ助成金導入の

陳情書提出に行き、今後の進捗を注視しているところです。今後も助成金導入への働きかけをしていきたいと考えています。

全ての患者さんに最適な時期に、最適な提供者（ドナー）が現われ、最適な治療を安心して受けられる日がくることを願っています。「できる事を、できる時に、誰もがする」そういった協力を促すきっかけになるよう、今後も活動を続けていきます。

（守口ライオンズクラブ会長 福永敏隆
／骨髄バンク地区普及広報委員・説明員 柴田慶子・赤木晴香）

心からのご寄付に感謝申し上げます ●8月21日～9月20日（敬称略）
当協議会への寄付金は税制上の優遇措置を受けられます。

●一般	●佐藤さち子造血細胞移植患者支援基金	とがし薬局	現金	6,563円
株式会社サカタのタネ	本田 真奈美	ドライブイン豊山	現金	7,453円
現金	現金	レンブラントホテル東京町田	現金	18,235円
株式会社エイブラフト	●募金箱	ゴールドジム十三大阪	現金	985円
現金	株式会 クスリのアオキ	磯屋食堂	現金	12,250円
伊藤 静子	現金	マジロカフェ	現金	2,562円
高遠 勲	株式会社 マルト商事	●つながる募金	現金	15,300円
藤波 敬子	現金	●キモチと。	現金	87,927円
飛田 行康	株式会社 ナルックス			
渡辺 伸子	現金			
匿名	株式会社 フクヤ			
匿名	現金			
匿名	現金			
	株式会社 フクヤ			
	現金			
	骨髄バンクチャリティ麻雀大会			
	実行委員会			
	現金			

活動資金の支援をお願いします 銀行口座 三井住友銀行 新宿通支店 郵便振替口座 00150-4-15754
普通 5666655

口座名：特定非営利活動法人 全国骨髄バンク推進連絡協議会
郵便振替口座の振込用紙を郵送いたします。当協議会までご請求ください。